

へいせい ねんどかながわけんきょういけいんかいひょうしょう  
 平成30年度神奈川県教育委員会表彰  
 かながわけんりつがっこう じどう せいとひょうしょう ひひょうしょうしやいちらん  
 神奈川県立学校の児童・生徒表彰 被表彰者一覧

けいしやうりやく  
(敬称略)

No	がっこう 学校名	こじん 個人 だんたい 団体の別	しめい また 氏名又は団体名	がくねん 学年	こうい 行為・実績等のあらまし
1	しろさとこうとうがっこう 城郷高等学校	こじん 個人	しんやしき なおと 新屋敷 直人	3	へいせい ねん がつ い え おぼ 平成30年7月、入り江で溺れかけていた70代の夫婦を当該校生徒が発見し、周囲に助けを求めたうえで、自ら泳いで夫婦を救助した。
2	しろさとこうとうがっこう 城郷高等学校	こじん 個人	せと しゅんた 瀬戸 駿太	3	へいせい ねん がつ い え おぼ 平成30年7月、入り江で溺れかけていた70代の夫婦を当該校生徒が発見し、同行した友人が泳いで救助する傍ら、適切に周囲に助けを求めするなどして夫婦を救助した。
3	よこはまこくさいこうとうがっこう 横浜国際高等学校	だんたい 団体	SGH海外スタ ディツアーベトナ ムチーム	2	2年生10名が、海外スタ ディツアーとしてベトナムを訪問し、事前 学習で気づいたカカオ農家の収入が不安定であることから、チョコ レートを作るときに捨てられてしまうカカオ豆の皮と現地の古紙を利 用して、カカオペーパーを生産し販売するビジネスプランを作成し た。 平成30年12月に開催されたSGH全国高校生フォーラムにおいて、 当該プランのポスターセッションを行い、出場した146校中、ベスト4 に選出され、審査委員長賞を受賞した。
4	よこはまこくさいこうとうがっこう 横浜国際高等学校	だんたい 団体	スーパーグローバ ルハイスクール生 徒委員会	-	SGH（スーパーグローバルハイスクール）指定校として、県内外 のSGH指定校との交流を深めるために生徒主体で発足し、「日本の 強みを海外へ売り込む方法」を追求する本校のSGHの視点と「紛 争・貧困」「世界の教育問題」「LGBT」などSDGsに関連した 国際問題について理解を深め、他の高校を含めた多くの人との意見交 換を通して、課題解決策を追究し、提言をまとめるなどの成果を挙げ た。 さらに、活動内容を文化祭の展示発表や生徒活動報告会として校内 だけでなく、来校した小中学生や地域の方、保護者、県内外の教職員 に委員会での活動成果を広く普及した。
5	よこはまなんりやうこうとうがっこう 横浜南陵高等学 校	だんたい 団体	しゃかいふくしぶ 社会福祉部	-	部員全員が礼儀正しく、部活動と勉強の両立を目指し努力する姿 や、ボランティア活動に熱心に取り組む姿勢は、他の生徒の模範となっ ている。 合唱コンクールや学校説明会、入学式などで、手話ソングを披露し たり、全国大会や手話に係る校外でのイベントに参加し、当該校の 「顔」として活躍している。 平成30年12月「いのちの授業」大賞の表彰式において、「ともに生 きる社会かながわ憲章」を題材とした手話劇を披露し、観客に大きな 感動を与えた。
6	しょうこうとうがっこう 商工高等学校	だんたい 団体	ぎじゆつけんきゆうぶ 技術研究部	-	ものづくりコンテスト神奈川大会電気工部門に出場し、優勝し た。優勝メンバーである部員1名が、第17回関東甲信越地区電気工事 コンテスト（関東大会）において、他の部員のサポートや夏休み中も 練習に励んだ成果もあり、出場選手中唯一の1年生として出場し、6 位に入賞した。 さらに、県内初の快挙となる平成31年8月上旬に開催される「第14 回若年者ものづくり競技会（技能五輪ユース大会）」への出場推薦を 受けた。

平成30年度神奈川県教育委員会表彰  
 神奈川県立学校の児童・生徒表彰 被表彰者一覧

(敬称略)

No	がっこうの名称	個人団体の別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
7	磯子工業高等学校	団体	技術研究部	-	地域貢献活動の一環として、(1)植木の剪定・伐採、(2)危険を伴わない機器等修理、(3)包丁・鎌等の修理や研ぎ出し、(4)高齢者住宅のエアコン等の清掃、(5)その他緊急を伴う修理や力仕事などのボランティア活動を行った。 突発的な依頼についても対応し、多くの高齢者世帯の方々から感謝の声をいただいた。
8	磯子高等学校	個人	やました さき 山下 紗季	3	平成30年度「神奈川県日中友好協会中国訪問団」に参加し、日本側の学生の中心的役割を果たし、訪問団を成功させるとともに、日中間の民間レベルの交流に大いに貢献した。 また、第38回「日中学生会議」に自主的に参加し、高校生ながら幹部として会議の企画・運営に携わり、広報活動を中心に尽力した。 校内においても勉学や部活動に全力で励みながら、生徒会会計として意欲的に活動する姿は、他の生徒の模範となった。
9	新羽高等学校	団体	ボランティア部	-	年間を通じて、地元の横浜市立新羽小学校でふれあい活動を行っている。月に1回保護者ボランティアと協力し、「土曜塾」として、小学校高学年の児童に算数を教えたり、施設見学や地域散策に出かけている。 また、毎週月曜日の放課後には、「はまっ子ふれあいスクール」に参加し、児童と一緒に遊んでおり、7月には、TVK番組「ニュースハーバー」で当該活動が放映された。 休日には、地域ケアプラザや老人ホームでのふれあい、地域でのお祭りの手伝い、横浜駅で実施される「ボランティアスタッフ」に毎年参加する等幅広い活動を行っている。
10	白山高等学校	団体	放送部	-	ドキュメンタリー番組「青い目の人形～人形に込められた思い～」を作成し、第42回全国高等学校総合文化祭長野大会で、「優秀賞」を受賞した。 作品は、神奈川県内の地域の話題となっている横浜市立本町小学校所蔵の「青い目の人形」についての現地取材を通して得たエピソードにより、平和を呼び掛ける映像作品となっている。
11	白山高等学校	個人	みつまた ゆう 三俣 悠	2	全国染織連合会主催の着物デザインコンペである染織意匠・図案コンペにおいて、エリトリア国をイメージしたデザインを制作し、全国から寄せられた400点の応募作品より選考された結果、金賞10点のうち1点(エリトリア国金賞)となった。受賞したデザインをもとに京都の意匠工房により染織された生地で作られた振袖が制作された。
12	金井高等学校	団体	青少年赤十字	-	平成30年9月に横浜市立千秀小学校にて実施された「平成30年度第1回千秀小学校地域防災拠点訓練」において、地域避難所となった体育館内の防災本部の開設と、受付、災害備蓄品の整備等を行った。また、訓練参加者に対して、「人道」の精神のもと、傷病者が発生した際の応急手当の方法を紹介し、実践してもらうとともに、他者への思いやりやさしさ、いのちの大切さを伝え、参加者の防災意識の向上に貢献した。

平成30年度神奈川県教育委員会表彰  
 神奈川県立学校の児童・生徒表彰 被表彰者一覧

(敬称略)

No	学校名	個人団体の別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
13	金井高等学校	団体	金井キャンパスナビゲーター	-	金井高校紹介ボランティア団体『金井キャンパスナビゲーター（通称「かなキャン」）』は、学校説明会での資料準備、受付、案内、受検の体験談紹介、制服モデル等の学校紹介活動に協力した。また、地域貢献活動、地域防災訓練等にも幅広く活動した。
14	金井高等学校	団体	硬式野球部	1	近接する横浜市立千秀小学校のPTAがかねてより懸念していた児童の安全な登下校に貢献するため、野球部の1年生（18名）が周辺の登下校ルートで不審者が潜みそうな場所等を3班に分かれて見聞調査し、従来の外周ランニングコースを変更し、「千秀小学校外周プロジェクト」として生徒主体となって立案・実行した。 また、代表者が千秀小学校の校長室を訪問し、プレゼンテーションを行う等、本活動が本当に千秀小学校のニーズに合致するかを確認する等、地域の防犯を兼ねた外周プロジェクトに継続的に取り組んだ。
15	川崎高等学校	個人	飛田野 達也	3	生徒会スタッフとして、文化祭、体育祭（実行委員長）の運営、学校説明会での司会、学校紹介ムービー作成への参加等、各種学校行事のサポートを行った。ハニーフェスタ（学校と川崎区役所との共催行事）の運営等の他、校外の取組にも積極的に参加し、高校生として、また、地域の一員として意欲的に様々なことにチャレンジした。
16	百合丘高等学校	個人	河合 来夢	2	学校外での活動として、ブレイキン（ブレイクダンス）におけるその努力と誰もが絶賛する技術力をもって、第3回ユースオリンピック競技大会において、女子個人・男女混合の両競技で金メダルを受賞した。
17	麻生総合高等学校	団体	華道部	-	日ごろから積極的に校外活動に取り組んでおり、平成30年11月に川崎アゼリア地下街中央広場で開催された「華展2018 私たちのかわさきパラムーブメント」において、自由な発想で生け花を行い、川崎市長賞を受賞した。
18	麻生総合高等学校	団体	合唱部	-	地域貢献活動として、川崎市麻生区の片平こども文化センター、田園都市病院及びケアヴィレッジしらとりで、年間4回ロビーコンサートを行う等、地道な活動をしており、施設にいる方々等から感謝されている。
19	平塚工科大学校	個人	真壁 卓士	1	平成30年5月、帰宅途中に、転倒して頭部から出血している老人男性を発見し、すぐさま友人と相談して救急車を呼ぶ一方で、男性の体調を気にかけて、積極的に声かけを行うなど献身的に対応した。
20	平塚工科大学校	個人	渡邊 大	1	平成30年5月、帰宅途中に、転倒して頭部から出血している老人男性を発見し、すぐさま友人と相談して救急車を呼ぶ一方で、男性の体調を気にかけて、積極的に声かけを行うなど献身的に対応した。

平成30年度神奈川県教育委員会表彰  
 神奈川県立学校の児童・生徒表彰 被表彰者一覧

(敬称略)

No	学校名	個人団体の別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
21	平塚工科大学校	団体	野球部	-	部員数が少ないながらも、日々地道に練習を重ねている一方で、地域から信頼される野球部となるために努力を重ね、朝練習の時間を使って、毎朝の地域清掃に取り組み、広く地域から認知されるようになった。
22	平塚工科大学校	団体	社会部	-	国際自動車連盟公認の国内最大規模のソーラーカーレースにおいて、平成22年度から18歳以下のエンジョイ I クラスで7連覇を成し遂げていたが、平成29年度で連勝記録は途絶えてしまった。 平成30年度、復活優勝するべくチャレンジを続け、総合優勝は企業チームに譲ったものの最後までトップを脅かし続け2位でのチェッカーとなり、エンジョイ I クラスで、圧倒的な記録で優勝した。
23	平塚工科大学校	団体	機械部	-	自作のスターリングエンジンを搭載した車体で、スピードや省エネ等、7部門に分かれて競う大会において、部員が作製した車体が、全参加車体の内から、柔軟でユニークな発想の車体に贈られるアイデア賞を受賞した。 また、ラジコンで50メートルを走行するタイムアタックで行われるRC部門では、出場した部員が作製した車体が32.14秒で2位となった。
24	湘南台高等学校	団体	吹奏楽部	-	平成30年12月に開催された第46回マーチングバンド全国大会において、151名の部員が参加し演奏演技を行った結果、高等学校の部において、グランプリ・文部科学大臣賞を受賞した。 平成29年度に3大会ぶり4回目のグランプリ受賞となった後も努力を続け、平成30年度、2年連続でのグランプリ獲得を果たした。
25	茅ヶ崎北陵高等学校	団体	文化祭実行委員会	-	「みんなが参加できる文化祭」をスローガンにして、熱心に取り組み、エコキャップ16,000個を使用した大型オブジェ等、趣向を凝らした様々な装飾で会場を彩った。 また、当該校初の取組となる後夜祭の打ち上げ花火を企画し、地域の自治会にプレゼンテーションをして協力を得る等、地域の中の学校を意識した計画を実行して、成功へと導いた。さらに、前年度の反省を踏まえて、「ルールを守って全員で行事を盛り上げよう」と勇気を持って、全校生徒に呼びかけ、一体感のある文化祭を作り上げ、その行動力・勇気・協働の姿勢が、全校生徒の模範となった。
26	相原高等学校	個人	宮崎 ミウ	2	日本学校農業クラブ全国大会 家畜審査競技会(肉牛の部)において、育成牛(月齢18~22カ月)と子牛(8~10カ月)の雌の黒毛和種各4頭について、骨格や肉付きなど各部の優劣を順位付けて、それが審査員の定めた正解にどれだけ近いかを競い合い、家畜の繁殖能力などを的確に見定める「目利き」が問われる競技で、90人の出場者の中、神奈川県代表として競技に参加し、見事最優秀賞を受賞した。 家畜審査競技会は、牛を観察し、その状態を的確に判断するもので、普段から授業など実習に熱心に取り組んだ成果である。

平成30年度神奈川県教育委員会表彰  
 神奈川県立学校の児童・生徒表彰 被表彰者一覧

(敬称略)

No	学校名	個人団体の別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
27	かながわろうこうさんぎょう 神奈川総合産業 こうとうがっこう 高等学校	だんたい 団体	ジャズバンド部	-	平日放課後4日間と休日の1日を基本に、演奏技術の向上を目指し、熱心に練習を重ね、学校周辺の地域イベントに積極的に参加し、地域の活性化に貢献しており、老人ホームや福祉施設などでの演奏にも積極的に取り組んでいる。
28	かながわろうこうさんぎょう 神奈川総合産業 こうとうがっこう 高等学校	だんたい 団体	だいたいびいぶ 大道芸部	-	大道芸各種(ディアボロ・エイトリング・シガーボックス・ヨーヨーなど)の技術向上を目指し、部員10名前後が熱心に練習を重ね、学校周辺の地域イベントに積極的に参加し、地域の活性化に貢献するとともに、老人ホームや福祉施設などでの公演にも積極的に取り組んでいる。
29	かながわろうこうさんぎょう 神奈川総合産業 こうとうがっこう 高等学校	だんたい 団体	ていじせいせいかいほんぶ 定時制生徒会本部	-	全校生徒の代表として、体育祭・文化祭等の各種学校行事の企画・運営等に積極的に取り組んだ。また、壁新聞を作成し、学校行事等を生徒にアピールし、全校生徒の先頭に立って牽引する姿は、他の生徒の模範となった。 さらに、学校説明会や地域の方々との連携による環境美化活動、春、秋の交通事故ゼロ運動の活動にも意欲的に参加し、来校者や地域の方々からも好評であった。
30	はなのこうとうがっこう 秦野高等学校	だんたい 団体	サッカー部	-	毎週火曜日、水曜日の部活動朝練習の時間帯に「感謝活動」と銘打って、学校周辺の清掃活動を行っている。活動を通して地域の方々との交流を深め、地域の方々から愛される活動になっている。
31	さがみはらちゅうとうきょうい 相模原中等教育 がっこう 学校	だんたい 団体	クラシックギター ぶ 部	-	平成30年8月に開催された全国学校ギター合奏コンクール2018において、106名の部員が参加して、課題曲「星月夜1“The starry night”」、自由曲「バレエ音楽『三角帽子』より」を演奏し、審査の結果、最優秀賞を受賞した。
32	つるみょうごがっこう 鶴見養護学校	だんたい 団体	きしねぶんきょうしつ 岸根分教室	-	バトントワーリング神奈川県大会に向けて、生徒達は限られた時間と場所を最大限に活用し、時間を惜しんで練習に励んだ。お互いに切磋琢磨し、集団としてのまとまりと演技の完成度を高めていった結果、関東大会、全国大会に推薦され、多くの観客の前で感情を込めたダイナミックな演技を披露し、多大な称賛と高い評価を得た。 また、一般のスポーツ大会に当該校の生徒が出場し、他チームの選手と同じ場で演技を披露し合うことで、共生社会の推進に大きく貢献した。
33	さがみはらちゅうおうしえんが 相模原中央支援 がっこう 学校	だんたい 団体	こうとうぶゆうし 高等部有志	-	生徒の社会参加や社会貢献活動として、休日の地域イベント等への参加を行っている。高等部作業班で制作したパンや菓子、雑貨類の販売、ゲームコーナーや障がい者スポーツ「ポッチャ」の体験コーナーの運営を行っている。地域公民館まつりや地域小学校まつり等、今年度は3回実施した。 生徒にはイベントごとに参加者を募り、有志が参加している。

へいせい ねんどかながわけんきょういくいんかいひょうしやう  
 平成30年度神奈川県教育委員会表彰  
 かながわけんりつがっこう じどう せいとひょうしやう ひひょうしやうしやいいちらん  
 神奈川県立学校の児童・生徒表彰 被表彰者一覧

けいしやうりやく  
(敬称略)

No	がっこう 学校名	こじんだんたい 個人団体の別	しめいまた だんたいめい 氏名又は団体名	がくねん 学年	こうい じつぎきとう 行為・実績等のあらまし
34	よこはま 横浜ひなたやま しえんがっこう 支援学校	だんたい 団体	ほうそういんかい 放送委員会	-	<p>つき すうかいていどちゆうしよくじ ろくおんほうそう なまほうそう ぶんかさい およ もよお もの 月に数回程度昼食時に録音放送や生放送、文化祭のBGM及び催し物の アナウンス、スポーツ大会時の実況中継、表彰の際の司会等を担当し ており、特に昼食時の放送に関しては、月に2回程度の委員会活動の なか げんこう よ れんしゆう せき かさ ろくおん つき かいいていど いんかいかつどう 中で原稿を読む練習を積み重ね録音している。平成30年度は、生徒一 とり じぶん が自分のなりたいDJのイメージを設定し、個性を生かした軽 いようかた ぐち ちゆうしよくじ ぶんいき も あ 妙な語り口で、昼食時の雰囲気盛り上げている。</p> <p>また、各行事においてもアナウンスを担当し、活動内容に合わせた アドリブなどを織り交ぜ、活気にあふれた進行を行っている。</p>
35	えびな しえんがっこう 支援学校	だんたい 団体	こうとうぶ しょくひんかこう 高等部 食品加 工・喫茶班	-	<p>まいつきだいに だいよんきんようび ごぜんちゆう こうちや ちや かりよう て 毎月第二・第四金曜日の午前中にコーヒー、紅茶、お茶を無料で提 いきよう せつきやくかつどう おこな せいと ちくしやきやう みな 供して接客活動を行う「ふれあいサロン」を生徒が地区社協の皆さん きかく うんえい せき かさ ちいき かた いち け とともに企画、運営をしており、地域の方の憩いの場になっている。</p> <p>また、地域の方々との定期的なふれあいを通して、支援の必要な当 うがいこう こ りかい ふか りようしやう せいと せいと せいと せいと 該校の子どもたちへの理解を深め、利用者からサロン運営についての アドバイスを受けるなど、きやうせいしやかい じつげん いっかん ちいき かつせ 共生社会の実現の一環となり、地域の活性化 いかに いったん にな 化の一端を担っている。</p>